

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日

令和 3年 12月 6日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3492100031		
法人名	口和福祉会		
事業所名	グループホーム口和		
所在地	庄原市口和町永田413番地 (電話) 0824-89-2700		
自己評価作成日	令和3年11月2日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3492100031-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和3年11月17日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

新型コロナウイルスの影響で制限される生活を強いられる中においても、入居者の皆様の安全を守りながら健康で楽しく過ごせてもらえるよう取り組んでいます。ここで暮らせて良かったと思ってもらえる居場所になれるよう職員一同力を合わせて頑張っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

法人理念「小さな気遣いが大きな安心へ」を念頭に、全ての支援が理念に基づいてなされることを理解し日々の実践に尽力している。日常における散歩はコロナ禍の状況下で制限の多い生活においても欠かさず行き、地域の方との挨拶や関わりを持つ機会や活動性のある暮らしに繋がっている。利用者の身体や精神面での状態に変化が生じ、難しい部分も感じるところであったが、職員はその分丁寧に利用者との関りを持ち、何ができるのかを考え、言葉遣いにも意識の変化が見られるなど職員それぞれに質の向上が感じられる傾向が得られた。今年度から担当制を導入し利用者の状況や様子をより詳細に把握し、業務の分担も図ることで利用者へのより深い関りや支援を実現している。食事も大きな楽しみとして力を入れており、嗜好調査を重ね利用者個々の好みに添いながら旬の食材を取り入れた柔軟なメニューを三食手作りにて提供している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	「小さな気遣いが大きな安心へ」の理念のもと気づきノートで共有してケアの向上に繋げて実践しています。	法人理念である「小さな気付きが大きな安心へ」を事業所の全ての支援において根源となるものとして理解を深め、順守し実践に努めている。理念の具現化に気づきノートを活用し、小さな気付きを日々記載し職員全員で共有を図ることで、早期の対応を可能としている。	法人全体の理念はあるが、グループホームとしての理念を作成することにより、職員ひとり一人が目標掲げること、さらに職員個々のケアの質の向上へと期待したい。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の中学校や小学校とオンラインで交流をしています。散歩で出会う地域の方々と顔なじみの関係を築いています。	コロナ禍であり地域や事業所の行事は自粛が続く中、今までは中学校や小学校の交流で毎年来所し発表の披露が定例であったが、今年初めてオンラインでの交流を行うことができた。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域のサロンや学校に啓発活動を実施しています。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	改定により今年度から外部評価による助言をサービス向上に役立てています。	運営推進会議は感染防止対策のため中止している状況が継続となっているが、日々の活動報告や行事での取り組みなどを書面で報告し各関係者への周知を行っている。全家族にも送付し事業所の取り組みの内容に理解が深まるように努めている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	月1回開催される地域ケア会議で情報交換や関係機関との連携に努めています。	法人で市との連絡を行い共有している。運営推進会議には支所担当者の参加があり意見交換や情報共有を行っている。コロナ禍以前は市や社会福祉協議会と共同して認知症カフェを開催し体操など行っていた。庄原市グループホーム連絡協議会にも市職員参画があり積極的に参加していた。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束予防委員会で身体拘束に当たる事をしていないか振り返っている。身体拘束例はないが、転倒リスクの高い方や日々のケアで生じる事案は気付いた時点で早期に話し合い、認知症ケアの支援内容を含め検討を行い、身体拘束をしないケアを実践しています。</p>	<p>法人敷地内に複数の事業があるが、事業所単独で身体拘束予防委員会を行い即座に話し合いができる体制をとっている。年2回研修を実施する他、職員同士互いに言い合える関係を重視しており、職員間の関係や共有を深め日頃より違和感は見逃さず根幹から摘み取ることを徹底している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>研修を行い自分自身のケアを振り返る場を持っています。話しやすい雰囲気など職場環境作り、相談しやすい人間関係になるように職員間のコミュニケーションに力を入れて不適切なケアを放置しない、見逃さない取り組みをしています。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>制度を利用されているご入居者に関わる事が職員の学ぶ場となっています。担当者と連携して不利益にならないように支援しています。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>ご家族に疑問や心配事はないか確認しながらわかりやすく丁寧に説明して納得を得るように努めています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ご入居者は担当職員へ要望を伝え、ご家族とは面会時や電話時ケアプラン更新時などの折に意見や要望をお聞きしています。</p>	<p>利用者へは日々の関わりから意向を汲み取り、希望に添いできる限り随時対応に努めている。家族には面会時や電話連絡、計画作成時に意見や意向を確認している。食事時間を家庭の暮らしにより近づくよう見直しや、オンライン面会の予約時間の幅を広げ面会人数を増やした例がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>日々のミーティングや会議、面談時、気づきノートを活用して職員からの意見を取り入れてケアの改善を行っています。</p>	<p>日々のミーティングや気づきノートにて意見を収集し、何でもやってみる姿勢にて改善や検討を行っている。管理者は職員一人ひとりそれぞれに話をすることを大切にし、日々の業務の中でも意識的に話をする機会を持ち、職員との関わりや時間を作り意見を聴き思いを反映に繋げている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>給与水準の整備には限界がある。労働時間や職場環境について常に現場の声や提案を聞くよう務めています。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>関係資格の取得は経費全額助成やそれに伴う講義の参加はすべて出張扱いにするなどスキルアップをしています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>近場で研修会に参加することや職場間の交流を目的として設立された庄原市グループホーム協議会を通じて参加しています。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>しっかり対話をしてご本人が困っている事や心配な事をお聞きして、共感し一緒に考えて行くことを伝えていきます。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>面談時にご家族の困りごとや心配な事をゆっくり丁寧に聞き、思いを受け止めています。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>他のサービス利用を含めた対応は行っていません。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>畑での野菜作り、山菜の下処理、料理の味付けなど色々な知恵を教えて頂き一緒に行っています。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>ご本人とご家族の関係を大切にして協力してもらえるよう努め一緒に支えています。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>他施設に入所されているご家族の面会を担当者と連携して行っています。友人との繋がりが切れないように文通や電話で連絡出来るように支援しています。</p>	<p>コロナ禍でも墓参りを家族協力を得ながら実施し、自宅周辺のドライブや手紙のやり取りの支援など様々に実践がある。日常の散歩も郵便局に立ち寄り局員とも顔馴染みである。散歩コース内に近所の庭の開放もあり、憩いの場となっているなど日常的な馴染みの繋がりが構築されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	人間関係に配慮して散歩や席の配置、レクリエーションを行っています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退居された後もご家族の相談に応じ必要な情報を提供しています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	直接要望をお聞きしたり、会話や行動、仕草や表情などからの気づきを大切に職員間で共有しています。	日々の関わりや利用者個々の仕草や表情を観察し思いや意向を確認している。知り得た情報は気付きノートで共有し把握に努めている。担当職員を決め、入浴時間も個別に話ができる重要な機会とし思いを深く汲み取っている。表現が難しい方へも家族に確認し支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご本人とご家族からの聞き取り、これまでの利用サービス事業所と連携を取り情報収集しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	独自の24時間シーートの活用と主治医と連携して現状の把握をしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ご本人、ご家族から話を聞いて、24時間シートを活用しています。反映できるアイデアは気づきノートでケアを共有して、それぞれを介護計画に活かしています。</p>	<p>本人、家族からは事前に意向を確認し、24時間シートを活用し状態の把握に努め、申し送りや気づきノートから共有した情報を基に意見をまとめ原案を作成し、カンファレンスで確認し決定している。それぞれの習慣や背景、できることに着目し実践できる計画となっている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>それぞれのケース記録に記入して、尚且つ必要な事は気づきノートで共有してケアの実践、介護計画に反映しています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>ニーズを見逃さずチームでどうすれば対応できるかを話し合い、可能な事は実施しています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>必要な地域資源を把握して活用し、地域で安全に安心して暮らせるように関係各所と連携して支援しています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>かかりつけ医と連携して通院援助を行っています。</p>	<p>利用開始時に以前からのかかりつけ医も継続が可能であることを説明し、しっかり話をして決定している。通常は通院支援を行い、必要に応じて往診も可能としている。協力歯科もあり、その他専門科へも主治医の指示の下に適切に受診を行うことができる体制を築いている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	併設関連施設の看護師に報告や相談をして適切な医療が受けられるように連携しています。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	担当医師や看護師、ソーシャルワーカーと情報交換しています。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	重度化する前に早めに話し合いの場を持ち、出来る事と出来ないことを伝え今後の方針を決めています。	利用開始時に重度化した場合など話を行い意向を事前に確認している。看取りは現状行っていないが、利用者の状態の低下や変化がみられた際に再度確認し、本人の思いを基に家族、主治医、職員で随時話し合いを行い適切な支援へと繋げられるように取り組んでいる。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	シュミレーションを行っています。		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	避難訓練を行い、避難場所や経路の確認をしています。	年間2回、法人全体で合同避難訓練を実施し、事業所独自に発生状況を想定した訓練を行っている。消防署や地域消防団の協力も得ながら実施し、早期の避難を意識づけ、有事の際は隣接するケアハウス3階へ避難するなど体制を整えている。備蓄は法人が管理するがコロナ禍を契機に事業所での保管を検討している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	否定せず、ありがとうございますの感謝を伝える関わりを大切にしています。	本人の思いを否定せず、感謝の気持ちを伝えるケアを職員それぞれが理解し全員で実践している。利用者一人ひとりの尊厳を大切にしながら信頼関係を築き、その人らしさを尊重した支援となっている。服の準備も利用者主体で行い、排泄に声掛けも個室で確認をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	どんなことでも話せる雰囲気、環境、人間関係を築けるよう努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	お一人お一人の日常を大切にして、日課は無理強いしていません。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	髪をカットしたい申し出があれば美容師に来所してもらい散髪してもらっています。化粧をしたい方には必要な化粧品をご家族に購入してもらいおしゃれを楽しんで頂いています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	嗜好調査を実施して食事メニューやおやつ、飲み物に反映しています。盛り付けや配膳、下膳、食器洗いを一緒にしています。	食は大きな楽しみとして、家庭的な料理を心がけ手作りにて3食提供している。年2回嗜好調査を実施し利用者の好みを反映し、職員がその日の献立を考えることで旬の食材や利用者の意向を柔軟に反映している。月1回喫茶会を行い、手作りのおやつを提供し、利用者の楽しみとなるよう取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>栄養バランスを考えたメニューで食事を提供し，1日に必要な水分摂取量は個別の体重からわりだして摂取してもらっています。好みの飲み物をお出しして水分補給が苦痛にならないようにしています。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後の口腔ケアを実施し，見守り声かけなど必要な支援をしています。歯科医と連携して早めの受診を行っています。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>24時間の排泄の状況を把握してお一人お一人に合った支援を行っています。</p>	<p>センター方式を使用し24時間シートで利用者個々の排泄パターンを把握し，早めに尿意など様子を見極め誘導を行っている。入所時点でリハビリパンツ使用であった方もその方に合った促しや支援にて布パンツへの移行ができ，現在も全員が布パンツにて過ごせる状況となっている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>散歩や体操など運動を毎日行い，水分補給や食物繊維に配慮した食事作りで便秘にならないよう予防に努めています。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めず，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>希望者には毎日入浴を実施しています。</p>	<p>1日おきに午後から入浴を行っている。入りたくないなど思いに無理強いせず柔軟に対応している。入浴時は1対1でのコミュニケーションの場として意識し思いの意向を把握し，楽しい会話で心地よい入浴となるよう支援している。柚子湯など季節も感じられる取り組みも行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>昼寝の習慣がある方には寝て もらっています。寝具は自宅でお 使いになっていたものを使用し ています。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>副作用を把握して気になる変 化があれば早めに受診し、主治 医や薬剤師に相談しています。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を 過ごせるように、一人ひとりの 生活歴や力を活かした役割、嗜 好品、楽しみごと、気分転換等 の支援をしている。</p>	<p>得意な事を役割に出来るよう 支援しています。季節行事や誕 生日会、月1回の喫茶会など喜 んでもらえることを企画して 実施しています。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられる よう支援に努めている。また、 普段は行けないような場所でも 、本人の希望を把握し、家族 や地域の人々と協力しながら 出かけられるように支援して いる。</p>	<p>散歩コースはご本人の希望に 沿っています。墓参りはご家族 の協力を得て実施しています。</p>	<p>毎日の散歩にこだわりを持ち 欠かさず実践している。現在 はコロナ禍であり外出は難し い状況下であるが、以前はイ ルミネーションを見に行くこ とや紅葉を見に出かけたり、 個別で地元の見たいところに 赴くなど様々な外出支援を行 っていた。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこ との大切さを理解しており、一 人ひとりの希望や力に応じて 、お金を所持したり使えるよ うに支援している。</p>	<p>トラブル回避の為、原則お金の 持ち込みは禁止にしています。 欲しい物や必要な物はご家 族に購入してもらっています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>ご家族や友人と手紙のやり取りや電話で話せるように支援しています。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>共有場所は表示しています。四季折々の壁絵を制作して季節を感じれるようにしています。</p>	<p>建物内部は木の設えにて温かみを感じられ、季節毎に四季折々の壁絵の作品が飾られアットホームな雰囲気となるよう工夫している。中庭には花が植えられ、ソファや椅子が各所へ配置されどこでも休め一緒に話ができる場である。ゆったり和やかに過ごせる環境づくりがなされている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>廊下に椅子、リビングにソファを置いて利用してもらっています。人間関係に配慮して会話をしやすい方と席が同じになるよう配慮しています。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>自宅でお使いだった寝具や家具、テレビや時計などを使って頂いています。</p>	<p>ベッド、三段衣装ボックス、エアコン、カーテンが備え付けられ、自宅で使い慣れた布団の持参をお願いし使用する他、馴染みの物を自由に持参が可能である。契約時は自宅へ訪問し生活環境の確認を行い、本人、家族の意向を踏まえながら配置を検討し落ち着く空間へ整えている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>場所が分かりやすいように表示したり、手すりを動線上に設置して安全に移動出来るようにしています。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム口和

作成日 令和3年12月17日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	1	職員個人の目標を作る。	指針となるグループホーム独自の理念を作る。	グループホームの理念を職員全員で作し、個人目標を立ててもらう。必要に応じて一緒に目標を作る。	今年度内
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。